

生物多様性ふるさと川西戦略(改訂案)の策定について

●生物多様性ふるさと川西戦略の改訂ポイント

計画期間が2015年度から2032年度までの18年間と長期的な計画となっているため、時点修正(社会情勢や特定外来生物など)を行いました。

※計画全体を見直すものではなく、部分改訂をするものです。

【主な修正点】

(1) 社会情勢等の変化による追加修正

OneHealth	人獣共通感染症に対し、人、動物、環境の衛生に関わるものが連携して取り組む考え
ネイチャーポジティブ	生物多様性の損失を食い止め、回復させる
30by30	2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標
OECM	保全地域(国立公園などの保護地区)以外の地域で生物多様性を効果的かつ長期的に保存しうる地域
生物多様性国家戦略 2023-2030	「生物多様性国家戦略2012-2020」の計画終了に伴い策定
SDGs	2030年までに達成する国際社会共通の目標として設定された持続可能な開発目標

(2) 特定外来生物等の追加修正

ヒアリ、クビアカツヤカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ、サビイロクワカミキリ、アルゼンチンアリ、アカミミガメ、アメリカザリガニなどを追加しました。



クビアカツヤカミキリ
(写真提供:兵庫県)



アカミミガメ
(写真提供:環境省)



アメリカザリガニ
(写真提供:環境省)